

新年号

病院長

ご自由にお持ちください

2024年

January

1

月号

新年のご挨拶

▶ Contents

新年のご挨拶

更なる飛躍を期待して！
(昭和大学藤が丘病院 病院長 高橋 寛)

ポストコロナの飛躍に向けて

(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 病院長 市川 博雄)

Report

患者さんからのご意見・ご要望

新年のご挨拶

～更なる飛躍を期待して～



昭和大学藤が丘病院
病院長 高橋 寛

年 頭に当たり、皆様の健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

今年辰年です。辰年は大なる飛躍の年でもあります。辰（龍）にあやかって、スタッフが一丸となって藤が丘病院と藤が丘リハビリテーション病院が更なる躍進が出来ることを願っております。

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。これまで「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」としていましたが、新型コロナウイルス感染症そのものが無くなった訳ではないので、引き続き感染予防と対策を怠ることはできません。実際、第9波では重症化リスクは少なくなりましたが、感染力の強い株が検出されました。昨年、藤が丘病院に入院した感染者数は520名でした。一昨年の591名に比べればやや減少しましたが、まだまだ安心はできません。今後も患者さんや全病院スタッフの協力が必要ですのでよろしくお願いいたします。

昨年9月、新型コロナウイルス感染症により中止されていた、医療法第25条第1項に基づく定期立ち入り検査が4年振りに施行されました。

また11月には卒後臨床研修評価機構（JCEP）による訪問審査が執行されました。いずれも大きな指摘事項はなく、皆様のご協力の賜物と感謝しております。

さて、藤が丘病院は地域の急性期医療を支えるとともに、教育機関としての役割も担っています。今年で開院49年を迎え、施設も老朽化が目立ってきましたが、再整備の実現まで一丸となって頑張りましょう！
皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



～正月飾りについて～

●しめ飾りは神聖な場所の印、災厄を払う役割も
家の門や玄関につけられるしめ飾りは、神社で見られるしめ縄と同じように、神様が宿る場所の印です。災厄を払うものだとも言われ、伊勢地方などでは素戔嗚尊（すさのおのみこと）が当地を訪れた際の民話とともに、一年中しめ飾りをつける慣習が残っています。ひと昔前は車の正面などにもしめ飾りをつけたものですが、最近はあまり見かけなくなりました。



新年のご挨拶

～ポストコロナの飛躍に向けて～



昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
病院長 市川 博雄

令 和6年の辰年という新しい年を迎えることとなりました。

昨年暮れには数年ぶりに対面での納会を開催することができ、職員の方々の労を直接ねぎらうことができました。皆さま方には病院運営における日頃の献身的なご協力にあらためて深く感謝いたします。

昨年の夏には新型コロナウイルス感染症流行の第9波の影響を受け、病院内では一時的な複数感染もあり大きな打撃を受けましたが、これまでの経験を活かし職員一丸となって乗り切ることができました。その後は新型コロナウイルス感染症の流行状況も落ち着くに伴い、面会制限等も軽減するなど通常通りに近い運用に戻ることとなり、入院患者さんやご家族の方の負担緩和にもつなげていきたいと思っております。

当院は回復期リハビリテーションを軸とする病院ですが、リハビリテーションのさらなる充実のためセラピストの増員を計画してるところです。近隣施設からの転院患者数も増加傾向にあり、今後はさらなるリハビリテーション機能の発揮をしてまいりたいと思っております。

今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」となりますが、辰には変革や転機といった意味合いがあるとされ、これまでの努力が実っていく年かもしれません。ポストコロナに向けて、勢いよく前進そして飛躍できればと思っております。皆さま方のさらなる活躍を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



～行事食について～

当院では、入院患者さんに季節を感じていただくために行事食というものを折々にご用意しております。

●年取り魚とは
年取り魚とは、大晦日の日に食べる魚のことです。年取り魚として食べる魚は地域によって異なります。東日本では「鮭」、西日本では「鰯（ぶり）」が主流であり、鮭は「栄える」という言葉にかけられていたこと、鰯は出世魚であり縁起が良いといった理由から、年取り魚として食されてきたようです。

年取り魚

年末年始の行事食（例）



お雑煮

患者さんからのご意見・ご要望



日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院内全体で共有しております。いただいたご意見・ご要望につきまして、改善内容を掲載させていただきました。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点等ございましたら、お聞かせくださいますようお願い申し上げます。



ご意見・ご要望

回答・改善内容等

救急搬送され主治医の先生はじめ病棟看護師、リハビリスタッフ、清掃スタッフ、数えきれない皆様の優しい言葉遣い、優しい対応、わかりやすい説明の仕方、徹底した教育がなされているのだなと痛感。

看護部、リハスタッフ、清掃スタッフの対応に関して、お褒めのお言葉を頂き、ありがとうございました。患者さんからの言葉は、スタッフの励みになります。

患者にとって優しい言葉、優しい対応は、何よりの特効薬です。チリひとつない病棟内の環境整備もすばらしいものです。

今後も、患者さんに寄り添いより良い治療や看護ケア、適切な療養環境が提供できるように努めてまいります。

思いもよらぬ入院でしたが学び得る事が多い入院生活でした。本当にありがとうございました。

【回答部署：看護部（4階東病棟）】

採血時、アルコール綿消毒不可・テープ不可と伝えていたが、聞き間違いがあり、アルコール綿で消毒された。しっかり確認してから対応をお願いします。

この度は、採血時の安全確認を行ったにもかかわらず、誤った対応により不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございません。今後、このような確認内容の間違いを防止するため、内容確認を患者さんと共に実施することを徹底して参ります。貴重なご意見ありがとうございました。

【回答部署：臨床病理検査室】

藤が丘病院で発行された院外処方箋を基に院外薬局で処方された薬を紛失し、院外処方箋の再発行を希望したが自費になると言われ納得ができない。

保険診療のルールに基づき、院外薬局で処方された薬を紛失した場合は、病院で発行される院外処方箋及び院外薬局でお支払する薬代は、自費になります。引き続きご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

【回答部署：医事外来課】

昭和大学藤が丘病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

1月号

January 2024

「病院だより」通巻第357号
2024年1月1日発行
【毎月発行】

発行責任者：昭和大学藤が丘病院 病院長 高橋 寛

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編集：広報・公開講座委員会



病院だより

《広報・公開講座委員会》

森岡 幹、酒井 広隆、鈴木 洋、布山 正貴、小岩 文彦、今井 敦、佐々木 春明、佐藤 伸弘、松原 大、高木 睦子、柴田 綾、出口 智一、孫 雨晨、岡部 圭吾、門田 美佳、川手 信行、西村 栄一、小野寺 真美、廣井 高志、鳥居 美弥子（順不同）



昭和大学
SHOWA University